

マイナビ電子書籍・VOD比較 映画「キッズリターン」の感想調査

 「キッズリターン」の感想・評価を調査！



Rさん: ★★★★★

北野武監督作品で一番好きな映画です。まるで監督ご本人の漫才のように北野監督作品は、不協和音とかズレみたいなのを楽しむ作品が多い中、この映画は割とシンプルな作品です。2人の不良青年の背伸びしているところが自然で、悪いんだけど悪くなりきれない。つまり、何にも始まっていない若者の潔さとダラダラ感といろんな感情を久石音楽で包み込んでいる名作です。

Wさん: ★★★★★

「キッズリターン」を見て、青年たちの成長と葛藤がリアルに描かれた作品に感動しました。主人公たちの夢追いとその挫折、そして再起への挑戦が深く心に響きます。特に、リアルな人物描写とドラマチックなストーリー展開が印象的で、感情移入しやすかったです。オススメポイントは、心に残るストーリーと深いキャラクター描写です。見終わった後も、長く余韻が残る作品です。

Sさん: ★★★★★

個人的には結構好きなお話。ボクシングのお話なので全然興味がないから不安だったのですが、実際にみているとボクシングのルールなんか知らなくてもかなり楽しめました。一番良かったのは、キャスト選びだと思います

す。金子賢さんも安藤政信さんも当時はまだまだ若手でしたが、かなり存在感がありました。やはり監督の見る目は間違っていなかったですね。

Jさん:★★★★★

二人の少年の青春と挫折がとてもしリアルに描かれていると感じました。主人公たちが夢を追いかける姿や、うまくいかない現実と直面する様子が共感を呼びました。特に、ボクシングやヤクザという選択肢の中で葛藤するシーンは、彼らの成長と心の変化を鮮明に伝えてくれました。

Kさん:★★★★★

ボクシング映画としても青春映画としても最高の作品。

「マーちゃん、俺たちもう終わっちゃったのかなあ？」

「バカヤロー、まだ始まっちゃいねえよ」

この名台詞は何度聴いても痺れますね。

個人的には最低のクズ野郎だったモロ師岡演じるボクシングジムの先輩が印象に残っています。

あのキャラクターもまた、深いんですよえ。

@さん:★★★★★

封切りで観ました。武さんが、生死を彷徨う事故から復帰したあとの作品でしたので、此方もなにげに緊張感を持って鑑賞したことを覚えています。邦画における鶴田浩二さんや健さんから『仁義なき戦い』へと続く極道ものの新たな流れを『ソラチネ』で創った武さんが、“ちょっと立ち止まって考えてみっか”ってノリで取り組んだような気がします。最近観直したのですが、観終わったあとの切ない爽快感は今も変わりませんでした。

Yさん:★★★★★

北野武監督作品の中で一番好きな作品。

主演は、金子賢と安藤政信。若者の揺れ動く心情を見事に描いている。

久石譲の音楽とキタノブルーが、青春の儚さと切なさを強く印象付けていく。

最後のセリフは、希望か絶望か。

ラストシーンからの音楽が秀逸。ここだけでも何度も見たい。

Hさん:★★★★★

「キッズリターン」について、二人の高校生が互いに支え合い、時にぶつかり合いながら成長していきます。リアルで切ない青春の描写と、シンプルでありながら深い人間ドラマが心に残ります。監督の北野武が見せる独特の視点と、主演俳優たちの自然な演技が物語に深みを与えており、青春の儚さと強さを感じさせる作品です。感情豊かで心に残る一作です。

9さん: ★★★

ボクシングジムでの練習シーンや、試合中の緊迫感は、観ているこちらまで息を呑むような迫力がありました。

でも、その裏には、若者たちの迷いや葛藤が描かれていて、どこか切なさも感じます。

金子賢さんと安藤政信さんの演技も素晴らしく、それぞれのキャラクターが生き生きと描かれていました。

Aさん: ★★★★★

全体的にはこれといった派手さもなく淡々としたストーリー展開の映画です。ですがその内容は奥深く、青春の挫折とそれを取り巻くちょっと歪な人間関係が描き出されています。ハリウッド映画ばかり見ている人にとっては、ちょっと退屈かもしれません。ですがラストの有名なセリフからエンドロールに入るところだけでもこの映画を見る価値があると思います。